

日本農学アカデミー 第24回総会報告

日本農学アカデミー事務局

第24回総会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、書面議決にて開催された。会員数210名に対し、書面提出数（書面表決書）161枚、未回答49枚であった。総会では、

- ①令和2年度事業報告（案）
- ②令和2年度収支決算（案）
- ③令和3年度事業計画（案）
- ④令和3年度予算（案）
- ⑤第11期役員（案）

について審議が行われ、すべての議案において、賛成161票・反対0票で承認された。総会に先立ち、7月1日にオンラインで開催された理事会には、理事16名、監事1名が出席した。

例年、総会後に開催されていたミニシンポジウムならびに懇親会は中止とした。

日本農学アカデミー第24回総会 次第

日本農学アカデミー第24回総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面決議にて開催することとする。

1 議案

- 第1号議案 令和2年度事業報告（案）について
- 第2号議案 令和2年度収支決算（案）について
- 第3号議案 令和3年度事業計画（案）について
- 第4号議案 令和3年度収支予算（案）について
- 第5号議案 第11期役員承認について
- その他

2 配布資料

日本農学アカデミー第24回総会 総会資料

- 資料1 令和2年度の入退会者一覧
- 資料2 令和2年度収支決算（案）
- 資料3 監査報告書
- 資料4 シンポジウム（案）
- 資料5 令和3年度収支予算（案）
- 資料6 第11期役員名簿（案）
- 資料7 「日本学術会議第25期新規会員任命に関する要望書を支持する声明」

日本農学アカデミー第24回総会 総会資料

【第1号議案】令和2年度事業報告（案）について

1 会員数の状況：正会員209名、特別顧問15名、賛助会員3団体

（令和2年度末現在、年度末退会者数は反映済）

令和2年度の入会者17名、退会者27名（資料1参照）

2 ミニシンポジウムの開催

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催に至らなかった。

3 シンポジウムの開催

(1) 「ウイルスとたたかう農畜水産」

日時：令和2年11月7日（土）13:00～17:15

場所：オンライン開催（zoom ウェビナー）

主催：日本農学アカデミー、公益財団法人農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチ・ジャパン

内容：新型ウイルスは動物からヒトに感染する—農学への影響— 甲斐知恵子
家畜・家禽におけるウイルス病 真瀬昌司
水産養殖におけるウイルス病とのたたかい 佐野元彦
昆虫ウイルスの制御と利用 勝間 進
植物ウイルスを知れば利用してみたい！
—知られていない植物ウイルスの世界— 増田 税

(2) 「家族経営農家の飽くなき挑戦と地域創生」

日時：令和3年3月13日（土）13:00～17:30

場所：オンライン開催（zoom ウェビナー）

主催：公益財団法人農学会、日本農学アカデミー

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科／毎日新聞社／国連食糧農業機関駐日
連絡事務所／中山間地域フォーラム／家族農林漁業プラットフォーム・ジャ
パン／ワールドウォッチ・ジャパン

内容：近未来の農業・農村を考える—新潮流と変わらぬ本質— 生源寺眞一
小規模農家が支える熱帯アジアのコメ生産にICTはやって来るか？ 加藤洋一郎
日本酒は故郷の誇り 斎藤美幸
家族的小企業のICT水田経営戦略 横田修一
農家の「ヨメ」の飽くなき挑戦 大津愛梨

4 学術シンポジウム等の後援及び助成

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、シンポジウム等の後援及び助成の申請はなかった。

5 総会、理事会等の開催

(1) 幹事会の開催

日時：令和2年4月22日（水）15：00～17：00

場所：オンライン開催

(2) 理事会の開催

日時：令和2年7月2日（木）10：00～12：00

場所・オンライン開催

(3) 第23回総会の開催

書面審議にて開催した。

6 会報の発行

令和2年度は、第33号（6月）及び第34号（12月）を作成し、ホームページに掲載した。

7 アカデミー便りの発行

会員間の情報共有のため、毎月発行し、会員に郵送した。

8 ホームページの充実

諸情報を逐次更新するとともに、会報やシンポジウムの案内を掲載するなど、内容の充実を図った。

【第 2 号議案】令和 2 年度収支決算（案）について
（資料 2 及び資料 3 参照）

【第 3 号議案】令和 3 年度事業計画（案）について

- 1 会員の拡大
- 2 会報の作成
- 3 シンポジウム（11 月）の開催（資料 4 参照）
- 4 学術シンポジウムの助成及び後援
- 5 総会、理事会等の開催
- 6 ホームページの充実
- 7 農学諸問題に関する調査等を実施し、日本農学アカデミー声明、提言及び
会長談話等の発出
- 8 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

【第 4 号議案】令和 3 年度収支予算（案）について
（資料 5 参照）

【第 5 号議案】第 11 期役員承認について
理事の交代。
（資料 6 参照）

【その他】

- ・2020 年 10 月 15 日に、日本農学アカデミー理事会は、一般社団法人日本農学会理事会、
公益財団法人農学会理事会と共同で「日本学術会議第 25 期新規会員任命に関する要望
書を支持する声明」を発出した。（資料 7 参照）

令和 2 年度の入退会者一覧

令和 2 年度入会者 (17 名)

- | | |
|----------|----------|
| 1 日弁 隆雄 | 11 犬伏 和之 |
| 2 酒井 正博 | 12 稲垣 賢二 |
| 3 原田 久富美 | 13 北島 薫 |
| 4 藤原 信好 | 14 竹中 麻子 |
| 5 白川 隆 | 15 阿部 芳久 |
| 6 熊谷 亨 | 16 渡辺 京子 |
| 7 高橋 清也 | 17 栗山 浩一 |
| 8 中島 隆 | (敬称略) |
| 9 笠井 久会 | |
| 10 下野 裕之 | |

令和 2 年度退会者 (27 名)

- | | | |
|----------|---------------|-----------|
| 1 赤堀 文昭 | 11 白川 隆 | 21 本多 健一郎 |
| 2 安宅 一夫 | 12 鈴木 和夫 | 22 森地 敏樹 |
| 3 石黒 潔 | 13 泉水 直人 | 23 本田 雄一 |
| 4 大内 成志 | 14 高野 克己 | 24 山内 皓平 |
| 5 大熊 幹章 | 15 谷口 旭 | 25 山崎 素直 |
| 6 木谷 収 | 16 道家 紀志 | 26 吉田 謙太郎 |
| 7 児玉 徹 | 17 中川 昭一郎 | 27 渡邊 朋也 |
| 8 坂田 好輝 | 18 中野 政詩 (逝去) | (敬称略) |
| 9 笹尾 彰 | 19 南條 正巳 | |
| 10 柴田 正貴 | 20 西山 徹 | |

日本農学アカデミー 2020年度収支決算書 (案)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:円)

科 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	差 額 ①-②	備 考
I 収入の部				
会費収入	2,175,000	2,260,000	△ 85,000	正会員分 2,110,000円 賛助会員分 150,000円
預金利息	100	53	47	
当期収入合計 (A)	2,175,100	2,260,053	△ 84,953	
II 支出の部				
会議費	200,000	2,822	197,178	シンポジウム・監査経費
諸謝金	100,000	144,212	△ 44,212	シンポジウム講師謝金
通信運搬費	135,100	116,583	18,517	総会・シンポジウム案内等、 切手・葉書
消耗品費	10,000	3,976	6,024	事務用消耗品
印刷製本費	55,000	58,177	△ 3,177	シンポジウムチラシ、封筒
図書購入費	1,036,800	986,400	50,400	月刊『学術の動向』購入費 (@480*2,055)
学会等助成費	150,000	0	150,000	シンポジウム助成金 (@30,000*0件)
ホームページ管理費	125,000	123,124	1,876	ホームページ更新料等
日本農学進歩賞共催負担金	100,000	100,000	0	
業務委託費	200,000	200,000	0	事務管理費
振込手数料	36,400	30,665	5,735	会費振込手数料(加入者負担) 等
予備費	100,000	0	100,000	
当期支出合計 (B)	2,248,300	1,765,959	482,341	
当期収支差額(C)=(A)-(B)	△ 73,200	494,094	△ 567,294	
前期繰越額 (D)	2,206,662	2,206,662	0	
次期繰越額 (E)=(C)+(D)	2,133,462	2,700,756	△ 567,294	

預貯金残高

内 訳	金 額
現金	20,000
郵便貯金	67,642
三井住友銀行普通預金	1,613,114
三井住友銀行定期預金	1,000,000
計	2,700,756

監査報告

日本農学アカデミー令和2年度収支決算について監査した結果、適正に会計処理されていることを認めます。

令和3年5月20日

日本農学アカデミー

監事 梅本 雅 

監事 小泉 健 

秋のシンポジウムについて

「持続可能社会と有機農業（仮）」

日時：2021年11月6日（土）13:00～17:30

場所：WEB開催と東京大学農学部弥生講堂のハイブリッド型（予定）

主催：日本農学アカデミー、公益財団法人農学会

後援：農研機構、東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチ・ジャパン
（いずれも予定）

地球規模の気候変動が国境を越えて人々の安全を脅かす問題となり、脱炭素社会に向けた取組が重要な行動規範としてあらゆる産業に浸透しつつある。持続可能でよりよい世界を目指すSDGsは社会に広く浸透し、食料生産の分野でも、原料や資材の由来、栽培・製造のプロセスへの関心が国内外で高まっている。2020年に顕在化した新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない状況は、農産物の生産・消費にも大きな影響を及ぼし、持続的生産に対する関心を一層高める契機となっている。

環境や生態系への配慮を重視する有機農業は、持続的社会にふさわしい農業であるが、生産に手間がかかり、有機農産物の価格が割高である等の理由から、わが国での取組面積は極めて少ない。農林水産省では、SDGsや環境への確に対応していく観点から、「みどりの食料システム戦略」（令和3年5月）を策定し、その中で「2050年までに有機農業の取組面積を耕地面積の25%、100万ヘクタールに拡大する」という目標を掲げている。

2021年度の日本農学アカデミーシンポジウムでは、with/after コロナで指向する持続的・循環型社会において、有機農業が果たすべき役割とそこに至る課題をとりあげ、参加者とともに今後の方向性を論じたい。

（構成案）

1) SDG's と有機農業（総論、国際情勢）

名古屋大学：香坂玲 先生

2) 有機農業の社会的課題（制度、社会的認知、人材等）

立教大学：大山利男 先生

3) 有機農業の技術的課題（生産、流通）

農研機構：三浦重典 様

4) 有機農業の現場から

オアシス21：吉野隆子 様

5) 農林水産省の政策

農林水産省：担当官

6) 総合討論

日本農学アカデミー 2021年度収支予算 (案)

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
I 収入の部		
前年度からの繰越金	2,700,756	
会費収入	2,080,000	正会員、賛助会員
預金利息	60	令和2年度実績 (53円)
収入合計 (A)	4,780,816	
II 支出の部		
会議費	150,000	幹事会、理事会、総会、シンポジウム開催費
諸謝金	120,000	シンポジウム講師謝金等
通信運搬費	135,100	総会等案内、シンポジウム案内等、切手
消耗品費	10,000	事務用消耗品
印刷製本費	60,000	ポスター、封筒等印刷費
図書購入費	990,720	『学術の動向』購入費 (@480*2,064冊 (172冊/月))
学会等助成費	150,000	シンポジウム等の助成金 (@30,000×5件)
ホームページ管理費	123,124	ホームページ更新料等 ((公財) 日本学術協力財団)
日本農学進歩賞協賛金	100,000	(公財) 農学会
業務委託費	200,000	事務管理費 ((公財) 日本学術協力財団)
振込手数料	32,000	会費振込手数料 (加入者負担) 等
予備費	100,000	
支出合計 (B)	2,170,944	
次年度への繰越金 (A)-(B)	2,609,872	

第 11 期日本農学アカデミー役員（案）

（令和 3 年 7 月〇日）

会長・理事	大政 謙次	日本学術会議連携会員、高崎健康福祉大学農学部長
副会長・理事	大杉 立	日本学術会議連携会員、八ヶ岳中央農業実践大学校校長
副会長・理事	佐々木昭博	東京農業大学参与・客員教授
副会長・理事	生源寺眞一	福島大学農学群食農学類長
副会長・理事	鳥居 邦夫	（株）鳥居食情報調節研究所所長
副会長・理事	長澤 寛道	元東京大学農学生命科学研究科長、前（公財）農学会会長
理事	石塚真由美	日本学術会議第二部会員、北海道大学大学院教授
理事	岩永 勝	（国研）国際農林水産業研究センター理事長
	→小山 修	（国研）国際農林水産業研究センター理事長
理事	勝田 真澄	（国研）農研機構理事
理事	門脇 光一	（国研）農研機構理事
理事	倉田 のり	日本学術会議連携会員、国立遺伝学研究所名誉教授
理事	沢田 治雄	前（国研）森林研究・整備機構理事長
	→中静（浅野） 透	（国研）森林研究・整備機構理事長
理事	嶋田 透	日本学術会議連携会員、学習院大学教授
理事	進士五十八	福井県立大学長
理事	中島 隆	（国研）農研機構理事
理事	中嶋 康博	日本学術会議第二部会員、東京大学大学院教授
理事	中谷 誠	（国研）農研機構副理事長
理事	松田 幹	福島大学農学群食農学類教授
理事	和田 時夫	日本学術会議連携会員、 （一社）漁業情報サービスセンター会長
理事	渡部 終五	日本学術会議連携会員、北里大学特任教授
監事	梅本 雅	（国研）農研機構理事
監事	小泉 健	（公社）農業農村工学会専務理事

（五十音順）

日本学術会議第 25 期新規会員任命に関する要望書を支持する声明

2020 年 10 月 15 日

一般社団法人日本農学会 理事会
公益財団法人農学会 理事会
日本農学アカデミー 理事会

日本学術会議会員推薦者の任命に関して、日本学術会議第 181 回総会における第 25 期新規会員任命に関する要望書（令和 2 年 10 月 2 日付）の内容を支持します。

以 上